

津市モーターボート競走場競技棟等完成

津市が建設を進めてきたモーターボート競走場の競技棟、選手管理棟、副審棟が待望の完成を迎えた。全国24箇所のレース場を転戦するボートレーサーが最高のパフォーマンスを発揮できることにも、地域のみなさんにも、地元のファンにも、トレスファンに親しまれ愛される施設へと、夢と期待が膨らむ大きな前進だ。今回のプロジェク

トは、設計を安井建築設計事務所、監理を中部都市建築設計事務所、施工を前田・安濃JVが手掛けた。



ごあいさつ

津市長
前葉 泰幸

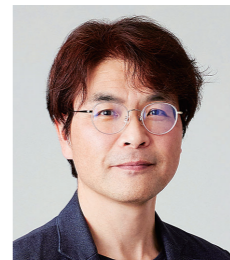
進化し続けるボートレース津

この度、全国公認第1号として、1952(昭和27)年に岩田川河口でレースのしぶきをあげた「ボートレース津」は、昨年11月の有料指定席エリアリニューアルに続き、2020(令和2)年度から建て替えを進めてきた新競技棟、選手管理棟、副審棟が本年3月に完成を迎えました。総事業費50億円をかけて生まれ変わった新競走場では、この10月に12年ぶりとなるSG競走「第72回ボートレースタービー」を開催するなど、新たな歴史を刻もうとしています。

24(令和6)年11月からは、長年悩まされてきた鈴鹿山脈から吹き降ろす強い西風による水面コンディションの悪化への対策として、大型防風ネットの改修工事に着手しました。29(令和11)年2月の完成を目指し、総事業費30億円の大規模プロジェクトが進行しています。

全国24のレース場を転戦するボートレーサーが最高のパフォーマンスを発揮できることにも、多くの地域の皆さま、ファンの皆さまに親しまれ、末永く愛される競走場となるよう、これからも継続的な設備投資により施行環境の充実を図ってまいりますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

設計コンセプト



設計部長 川井 茂輝



設計主事 藤村 篤

株式会社
安井建築設計事務所
名古屋事務所

水景づくりからイメージアップを考える

ボートレース競走場内における競技用関係施設(競技棟、危険物庫、副審棟)および選手用関係施設(選手管理棟)の再整備事業である。整備対象エリアには新たな建物を作る余地がなく、加えて工事期間中もレース営業の継続と運用への配慮が強く求められるため、最初に競技棟を競走水面上に建設し、次いで旧競技棟を解体した跡地に新選手管理棟を、そして副審棟と、計画施設を段階的に整備供用する建て替えフローと配置計画とした。

棟ごとの独特な機能や合理性を十分に確保しつつ、ボートレースのさらなるイメージアップにつながる施設づくりを強く意識した。既存スタンド棟を含めた施設群としての景観が競走水面と調和し、競技選手や来場ファンの心に残る印象的な水景づくりを目指した。計画施設のうち来場ファンから認識しやすい水上配置の競技棟は、既存スタンド棟に倣ったゆるやかな曲面屋根を採用し、優雅なフォルムで広い水景に伸びやかになじむ外観構成とした。隣接する選手管理棟はその伸びやかさを延長した。また、レースを俯瞰する塔状建物の副審棟は、競技棟と選手管理棟が構成する水平ラインに対し、デザイン上の結節点として位置づけ、既存スタンド棟も含めた形態調和を図った。また、色彩計画は、レースへの集中が高まるような仕掛けとして外装を抑制したモノトーン基調で徹底し、躍動する勝負服6色(白黒赤青黄緑)をより鮮明に映し出す選手ファーストの色彩調和を図った。

水景を構成する形態と色彩をコントロールすることにより、主役である選手を引き立てるレース背景づくりが実現できた。本事業がボートレースの益々の発展に貢献し、関係者来場者に絆を感じてもらえれば幸いである。

思いを乗せて夢と期待が膨らむ



建築概要 ◆工事名/津市モーターボート競走場競技棟等新築その他工事 ◆場所/津市藤方下/割777番地 ◆発注者/津市 ◆設計/株式会社安井建築設計事務所 ◆監理/株式会社中部都市建築設計事務所 ◆施工/前田・安濃特定建設工事共同企業体 ◆敷地面積/181,870.81㎡ ◆建築面積/5,901.47㎡ ◆構造/規模/S造(危険物庫壁はRC造)、競技棟・副審棟2階、選手管理棟・危険物庫平屋、延べ床面積5,313.02㎡ ◆工期/2020年12月9日～2025年3月14日

設計 株式会社安井建築設計事務所

施工 前田・安濃JV

施工のポイント

前田建設工業株式会社
所長 湯浅滝一郎氏

供用しながら地盤・水圧に対応

2021年2月に着工し、競技棟や選手管理棟、副審棟などの各施設を順番に建築した。大きなポイントは、競走場として供用を維持しながら施工を進めたこと。レースの開催日程や休止期間は決まっているため、スケジュール管理に神経を使うのはもちろんのこと、モーターボート競走場という特殊な施設ならではの苦労もあった。「選手らと接触しない作業員の動線確保や特定エリア内での通信機器の使用制限厳守など、レースに影響が出ないよう最大限努力しました」と湯浅滝一郎所長は語る。

こうした供用面での条件に加え、施工の技術的な面でも難しい部分が多く、高度な現場の観察眼や関係者との調整能力が求められた。新築した複数棟の中でも特に困難だったのが、レース場の東側で水面上に建築した競技棟である。まず、シートパイルで台形状に4方向を締め切り水を排出、地盤改良を行った。湯浅所長は「常に周囲から受ける水圧との勝負でした。万が一のことがあれば建築現場が浸水してしまうという緊張感を伴いながら作業を進めました」と振り返る。この後の杭打設は、着工前の計画よりも相当長い作業期間を要した。

地盤から水が噴出してしまふことへの対応策として盛土を行った。試験施工で水位上昇の高さや流速、水位変動、塩分濃度などを確認し、社内の土木にも協力を得ながら盛土の高さやベントナイトの配合などを検討。結果、盛土でうまく噴出を抑制することができ、無事に杭の打設を完了した。

競技棟の本体も特殊な構造を持つ。改良した地盤上に、躯体を持ち上げて水中に隠れるベースと柱を構築。その柱の上部に基礎梁が繋がったため、通常なら地中に埋まっている基礎梁が、空中に浮くかたちになっている。基礎工、1階床、鉄骨建方、2階床、屋根・外壁と順調に施工を進め、23年9月に水を戻した。

競技棟の杭工事で延長した分は、副審棟の工程を早めることで巻き返した。当初計画では選手管理棟の建築を完了した後で施工する予定だったが、同時並行で実施。「選手管理棟の作業員や重機をうまく副審棟に流すことができ、効率的な工程につながりました」と湯浅所長は振り返る。

約4年間の工事にあたり、現場運営では働き方改革にも注力した。着工時に全工程を見据えた休暇予定表を作成。毎年、4週8閉所を達成した。BIMを活用した品質や生産性の向上、ウェブカメラによる効率的な現場確認なども取り組んだ。

湯浅所長は工事を振り返り「ほぼ前例のない特殊な工事だった。地域をはじめモーターボート関係者など多くの人が期待している施設を無事完成させることができ、ほっとしているとともにうれしく思います」と話す。



競技棟(水戻し前の状況。通常、基礎梁は地中に埋まっているが、空中に浮く形になっている)



競技棟装着場



選手管理棟食堂



選手管理棟ロッカールーム



現場の若手
前田建設工業株式会社
林 俊明氏

特殊な条件下で
品質を確保
選手管理棟や副審棟の建築に携わった。海に近接した場所での工事は初めて。掘削するごとの水が出てくるため、それらの対策を行いながら基礎や躯体の施工を進める必要があった。塗装などの仕上げも高いレベルが求められたが、無事完成に立ち会えることができた。

水位の高い地盤環境や特殊な工法など、初めての経験が多い現場だったため、学んだことを今後の仕事に生かしたい。

設計 人やまを元気にする

安井建築設計事務所

名古屋事務所 名古屋市中区東1-10-23 電話 052(961)1861

おかげさまで2024年4月1日に創業100周年を迎えました。

監理

株式会社 中部都市建築設計事務所

津市押加部町12-20 電話 059(226)0139

施工 前田・安濃 特定建設工事共同企業体

前田建設工業株式会社 中部支店

名古屋市中区栄5-25-25 電話 052(251)6251

安濃建設株式会社 総合建設業 一級建築士事務所

津市安濃町草生4326-1 電話 059(268)2717

祝 完成

<p>防水工事</p> <p>株式会社 アートテックエンジニア</p> <p>津市島崎町135-6 電話 059(222)0533</p> <p>株式会社 アケノ</p> <p>三重県伊勢市東大塚町3843-3 電話 0596(52)1112</p> <p>株式会社 あすてる</p> <p>岐阜市岩地1-10-13 電話 058(374)2118</p> <p>有限会社 伊藤工務店</p> <p>三重県松阪市津野津屋敷町895 電話 0598(42)5072</p> <p>株式会社 エルフ 中部営業所</p> <p>名古屋港区善通寺本町338 電話 052(382)2321</p> <p>有限会社 オオブ工業</p> <p>三重県桑名市長島町東殿1056 電話 0594(42)3811</p>	<p>電気設備</p> <p>東光電気工事株式会社</p> <p>TOKO ELECTRICAL CONSTRUCTION CO., LTD</p> <p>中部支社 名古屋市中区錦2-5-5 電話 052(201)1533</p> <p>株式会社 角藤 土木事業部名古屋営業所</p> <p>名古屋市中区錦1-10-27 電話 052(204)8660</p> <p>株式会社 片岡工務店</p> <p>津市上井附町17-6 電話 059(227)1640</p> <p>釜屋硝子建材 株式会社</p> <p>津市河芸町中別保196-1 電話 059(245)5500</p> <p>菊山鋼材 株式会社</p> <p>津市野崎町内岩田363 電話 059(228)0341</p> <p>株式会社 木股鋳金属製作所</p> <p>岐阜市水海道4-22-14 電話 058(245)5713</p> <p>有限会社 コジマ</p> <p>三重県志摩市磯部町坂崎658 電話 0599(55)1216</p>	<p>機械設備</p> <p>ダイダン</p> <p>名古屋支社 名古屋市中区東横1-1-10 電話 052(973)4750</p> <p>大東商事 株式会社</p> <p>津市河津町津島1011 電話 059(225)1022</p> <p>中央産商 株式会社</p> <p>津市南中央2-18 電話 059(223)3841</p> <p>東海物産 株式会社</p> <p>名古屋市中区小池町434 電話 052(779)2266</p> <p>トーワエレックス株式会社 名古屋営業所</p> <p>名古屋市中村区名駅南1-14-24 電話 03(6280)7635</p> <p>有限会社 ニチカンコー</p> <p>三重県松阪市喜多村新田町243 電話 0598(56)3842</p> <p>株式会社 日塗建</p> <p>津市栄町1-906 電話 059(271)6066</p>	<p>株式会社 マエケン</p> <p>名古屋市中区丸新町196 電話 052(902)2622</p> <p>前田道路 株式会社 四日市営業所</p> <p>三重県四日市市西日野町266-1 電話 059(320)3510</p> <p>マツカワ工業 株式会社</p> <p>津市半田2818 電話 059(253)1335</p> <p>丸紅建材リース 株式会社 名古屋支店</p> <p>名古屋市中区栄2-2-12 電話 052(211)3265</p> <p>三谷セキサン 株式会社 名古屋支店</p> <p>名古屋市中区錦1-7-26 電話 052(232)1936</p> <p>村木建材工業 株式会社</p> <p>津市高屋小森字大新田2833 電話 059(234)2101</p> <p>八木鋼材 株式会社</p> <p>名古屋市中川区小本木町1-100 電話 052(352)0111</p> <p>柳 有限会社</p> <p>津市船頭町津興3487 電話 059(227)4727</p>
---	---	--	---